本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	社会	学年	6 年
単元名 (教材名)	大昔のくらしとくにの統一 （日本文教出版 社会6年）	時	第1次第2時 （全3次 7 時間）
本時の 目標	弥生時代のくらしの様子を縄文時代と比べながら調べ、くらしや社会の変化をとらえることができる。		

	学習活動	ICT 活用
1	○前時の復習をする。 ・縄文時代のくらしの特徴を振り返る。	1【大型提示装置】 縄文時代の想像図と各自が整理したものを提示し、前時の学習を思い出す。
2	○めあての確認をする。 「縄文時代と比べながら、弥生時代のくらしの特ちょうを見つけよう。」	
3	○弥生時代のくらしや社会の様子を調べる。 ・教科書p55～56の弥生時代のくらしの想像図を見て、縄文時代のくらしと変化しているところを見つける。	3【学習者用端末】 ロイロノートで送られた想像図に○をつけ、変化しているところを見つける。
4	○弥生時代のくらしや社会の特徴について、衣、食、住、その他の項目に分けて整理する。	4【学習者用端末】 ・Jamboard を活用し、衣、食、住、その他の項目でカードの色を変えて、くらしの特徴を書く。 ・項目ごとでグループに分ける。
5	○まとめた結果を交流し、弥生時代のくらしや社会の特徴をつかむ。 「弥生時代には米作りが始まり、身分の差が生まれ、争いが起こったと考えられる。」	
6	○振り返りをする。	6【学習者用端末】 振り返りカードに本時の振り返りを書き、ロイロノートで提出する。

備　考
○ロイロノートの提出機能と回答共有機能により、児童同士の考えの共有がしやすい。また指導者はいつでも児童の書いたものを確認することができる。 ○Jamboard で弥生時代の特徴をリアルタイムに整理、グループ分けができるので時間短縮ができ、考えを深めさせたいところ（この時間で学ばせたいところ）に時間をかけることができた。

原案作成【 五條市立五條小学校 】